

平成 2 5 年

全 員 協 議 会 記 録

平成 2 5 年 1 2 月 1 2 日

和 光 市 議 会

全 員 協 議 会 記 録

◇開会日時 平成25年12月12日(木曜日)
午後 2時45分 開会 午後 3時13分 閉会

◇開催場所 全員協議会室

◇出席議員 17名

議 長	菅 原 満 議員	副議長	栗 原 次 男 議員
2 番	金 井 伸 夫 議員	3 番	熊 谷 二 郎 議員
4 番	須 貝 郁 子 議員	5 番	田 上 安 男 議員
6 番	吉 田 武 司 議員	7 番	阿 部 かをる 議員
8 番	村 田 富士子 議員	9 番	佐久間 美代子 議員
10 番	吉 田 けさみ 議員	11 番	待 鳥 美 光 議員
12 番	駒 井 政 公 議員	13 番	赤 松 祐 造 議員
14 番	猪 原 陽 輔 議員	16 番	齊 藤 秀 雄 議員
18 番	齊 藤 克 己 議員		

議会運営委員会委員長 齊 藤 秀 雄 議員 (兼務)

◇欠席議員 なし

◇出席説明員 なし

◇事務局職員

議会事務局長	富 澤 勝 広	議会事務局次長	本 間 修
議事課長補佐	平 川 京 子	主 事	小 林 徹

◇本日の会議に付した案件

- ・議会報告会の反省について
- ・その他

午後 2時45分 開会

○菅原満議長 ただいまから全員協議会を開催します。

本日の案件は、議会報告会の反省についてです。議会運営委員会を通じて、議会報告会のアンケートの集計、記録、概要、各会派から提出の反省点は、すでに配付してあります。これらの資料を踏まえ今回の反省や次回の議会報告会に向けた御意見がありましたら、挙手願います。

改めて資料を確認していただくため、暫時休憩します。

休憩します。(午後 2時45分 休憩)

再開します。(午後 2時47分 再開)

それぞれの議員から意見はございませんか。

田上議員。

○田上安男議員 今回の資料を踏まえてということですが、うちの会派から出さなかったが、全般的な所見という形でもよいですか。

○菅原満議長 発言を続けてください。

田上議員。

○田上安男議員 議員になってから5回、議会報告会に参加させていただきました。そのたびごとに、私は来てくださる方に丁寧に説明をしてきましたが、果たして、本当に、当初の議会報告会の目的が達成されているのか問題点を持ちながら、このやり方を見直す時期に来ているのではないかと思っています。前回の例を挙げれば、11名来ておられました。私たちは17名で説明をしていたのですが、その11名の中で、千葉県の議員や市役所の人を除くと、10名に足りない人数の方々に説明を行ってきました。

問題点としては、当初の議会報告会の意義が達成されているかということです。第一段階としては非常にいい議会報告会ですので、これはこれとして意義があると思いますが、その次の段階にステップを踏む時期に来ているのではないかと思っていますけれども、これに対してはいかがでしょうか。

○菅原満議長 いかがでしょうかではなくて、皆さんで御議論いただくということです。私の立場は執行部ではありません。

田上安男議員。

○田上安男議員 私はこういう意見を持っておりますけど、他の議員の方々は、どのようにお考えでしょうか。さらに言うならば、次回も同じような和光市議会報告会開催要領で、5、6名の方に議会報告会をすと思っておられるのでしょうか。

○菅原満議長 吉田けさみ議員。

○吉田けさみ議員 私もこの議会報告会のあり方に関して、確かに市政のことを知ってもらうとか、市政や議会をもっと身近に感じてもらうという当初の目的もあったかと思いますが、や

はり、何回か繰り返しても、市民の皆さんの参加とか、準備にかける日数を費やして行うということに対して、どうなのかという思いです。だから、今後、この議会報告会のあり方がこのままでいいのかどうか、考えるべき時にきているのではないかと考えています。

○菅原満議長 議会報告会のあり方について、議論をしていく必要があるのではないかと御意見でございます。

齊藤克己議員。

○齊藤克己議員 公明党としましては、現状の延長線上として考えた場合に、いくつか改善点を出しています。特に、質問事項に関しては、どうしてもその場での対応になりますと、一人での対応ということではなかなか心もとないとか、意見が的確なものが出しにくいのではないかとということで、参加された方の満足ということになると、満足していただけるような答え、質疑ができていのかなどという、なかなか現状は難しい部分もあるということです。その点で、一例として、今まで行っていた用紙に質問事項を書いていただいて、それを調べた上で答えるということ、一例として書かせていただきました。そのような形で改善する必要があると思っています。

個人的な意見では、吉田けさみ議員から話がありましたけれども、ありようとして、根本的にそれは考えていく必要があるかと思っておりますけれども、議会として何らかの形で市民の方に相対、報告していくということは、和光市議会として今まで行ってきたわけですから、それは流れとして大切にしていってほしいと感じています。

○菅原満議長 ほかにございますか。

齊藤秀雄議員。

○齊藤秀雄議員 今までの参加されている方たちをみていますと、ある程度、時を経るごとに固定化特定化されてきているのが現実で、数はどんどん減少してきています。私も議会運営委員会の委員長をさせていただいて、行政視察で、他市から議会報告会はどうなっているのかと聞いていますけれども、答弁する自分もだんだんつらい立場になっているというのが現実の問題です。

私の考えで、議会報告会は今のままならしない方がいいとか、議会報告会の参加者をいかに多くさせるかという方向性で考えるべきであって、議会報告会だけでは消滅してしまうのではないかと危惧があります。

例えば、従前からある意見交換会とか、もしくは地域特性に特化した話題での取り組みとか、新たな方向性も加味しなければ、今の議会報告会を存続させていく意味がないというのが私の意見です。

○菅原満議長 齊藤秀雄議員。

○齊藤秀雄議員 誤解があるようなので、もう一度申し上げます。

いろいろな立場での意見があつてしかるべきで、私は議会運営委員会の委員長として、各行政視察を受け入れています。なぜ、和光市に関心を持っているかという、議会報告会をやっている結果、内容をお知らせいただきたいという質問が多くあります。それを答弁するにあたって以前はおおらかに、当初は、20人、30人来ていましたと言えます。直近はどうなんですかという質問を受けた時に、実は減っていますという形になります。そうすると、何のための議会報告会なんですかということなんですね。ということは、開かれた議会といったところで、また、議会報告会で出向いて行ったところで、実質問題、特定された2、3名の方々のためだけに議会報告会を開く必要があるのか。そうではなくて、従前みなさん御存じのとおり、例えば、意見交換会とか特化したことだけの話題に取り組んでやるとか、新たな方向性を模索しなければ、今のままでしたら必要としないのではないかと思います。また、やるだけのエネルギーは出てこないと思います。

私の考えとしては、この議会報告会は議会報告会として、やらざるを得ない環境にあるかと思うが、それにプラス何らかの方策を講じなければ、やりがいがないと思います。

○菅原満議長 ほかに、御意見ございますか。

金井伸夫議員。

○金井伸夫議員 皆さんの御意見を伺っていて、もっともだなと思いました。これまでも、議会報告会は、予算と決算の資料作りとその説明という内容でやってきましたので、さっき、齊藤秀雄議員がおっしゃるとおり、私も特定の人しか、恐らく関心の高い方しか、予算と決算にそれほど興味はお持ちでないと思いますので、やはり、そういったテーマを予算、決算以外のテーマに変えてみて、例えば、地域によっていろいろなニーズが、要望事項が異なって、それぞれ地域のニーズがあるかと思しますので、例えば、どこかそういう地域を選んで、その地域の皆さんと意見交換するとか、こういった形で議員が一堂に会して、地域を訪れて、地域の皆さんの御意見を聴くということをする、こういった議会報告会も活性化されるのかなという感想を持っております。

○菅原満議長 赤松祐造議員。

○赤松祐造議員 私も齊藤秀雄議員に共鳴するところがあります。やはり、人が来ないということは、議会報告会に魅力がないから来ないのであって、魅力があれば人は来ますから、どうやったら魅力のある議会報告会になるか皆で提言し合っていないと、やっても無駄とは言えないですけど、やる割には、こちら人も来なければ力が湧かないし、面白くありません。どうすれば人が来るかを、それぞれが考えて提言し合う、ここで決めるということでは、提言しなくてはいけないんでしょうけど。

それともう一つは、金井議員がおっしゃったように、一般の方にとっては予算とかは魅力がないと思います。恐らく自分が関わった問題とか、そういうものを聴いて欲しくて来ています。あとは、議会のあり方について、意見を言いたいので来ている人もいます。やはり、魅力のある形にしないと、続かないと思うのです。ただ、外に向かってやっているよということは、P

R効果はあるかもしれませんが、実が伴ってないので、ここらでちょっと新しく刷新しないといけないと思います。

○菅原満議長 村田富士子議員。

○村田富士子議員 これからの議会報告会のあり方ということで、栗山町が先進事例として議会報告会を開催していますが、実績を見ても栗山町では、1回の報告会を12会場で行っています。一番最初は、370人ということで、12会場で9回これまでに行ってきています。1会場で180人集まったりすることもあるのですが、一番最初の平成17年が、その中でも370名と一番多くて、9回行う中で少しずつ減ってきています。直近でも、平成25年3月が同じ12会場で行って182人です。続けていくということは課題が出てくると思います。和光市が一番最初に2会場でやった経験があります。もう少し、例えば、団体、市民団体の方を対象にするとか、自治会を対象にするとか、そういったこともいろいろ工夫をしながら、もう少しやってもいいかなというのは、検討していったらどうかと思います。

○菅原満議長 須貝郁子議員。

○須貝郁子議員 前からだんだん減ってきています。会派でも議会報告会とかをやったりするのですが、そうすると、30人位集まるから、議会報告会より集まる感じなんです。それは何かといたら、議員一人ひとりの本音が、本当に思っていることが聞けるというのが一つあると思ってるんです。だから、議会報告会でも、こういう議題があっただけというだけではなくて、こういう意見もあったり、こういう意見もあつたけれども、結果的にはこうなりましたという報告のほうが、魅力があるというか、聞きたいところなのではないかと思います。議会としての報告なので、精査された形になってしまうので、もうちょっと色々な意見が聞きたいということではないかと思います。

例えば、今まで出ていたような大きな問題について、皆で意見を聴きましようといったときに、それぞれが本当に自分たちの思っているどおりに話し合えるような場であれば、それは、市民としては面白いかもしれないですが、それが、議会として可能なのかというところも検証してやらなくてはならないのではないかと思います。

○菅原満議長 ほかに、ございますか。

赤松祐造議員。

○赤松祐造議員 今までの議会報告会の資料は、資料を作って短い時間で渡して、あとは、市民の方にいろんな意見をしゃべっていただいて、提言でも、苦言でもしゃべっていただいて、それまでの回答の一つをまとめて答えをしようとするとう回答できないから、それぞれが手を挙げて答えてあげるというワークショップ的な、報告会ではなく市民の声を聴くような時間帯を設ければ、懇談会とか、お茶でも出せば人はいっぱい来ると思うんです。

けども、今までやったベーシックなものはベーシックで印刷物で渡して、早く終わらせて、あとは、議員と市民との対話、懇談の時間を長くすれば人は集まってきます。何でも言ってくださいという感じです。ただ、回答は約束ではありません。そういう場にすれば人は来ると思うんです。

○菅原満議長 田上安男議員。

○田上安男議員 ここに用意していただいたペーパーに対する意見を聴かれるつもりだったのでしょうけども、私は、ここで具体的には決められないと思います。ですから、ここで、決めていただきたいのは、次回も同じような要領でやるのか、あるいは、ちょっと手を加えたような形でやるのかということを決めていただければいいと思います。

○菅原満議長 田上安男議員に申し上げます。ここは、決める場ではなくて、御意見をいただいて、最終的には、議会運営委員会で決定するということになります。御意見は大いに発言していただいて結構です。

田上安男議員。

○田上安男議員 先ほどの須貝議員の話を聞いて、当初、2回目ぐらいのときに、もう少し意見交換という形を持った方がいいのではないかと発言をさせていただきました。その時に、それは、会派がやっているの、それはそれでいいのではという意見もありまして、何回か続けていくと結論は違ってきます。会派は、会派でタイトルがあるから、会派で考えていることは言えると思います。でも、議員の一人として言ったときには、また、言い方がちょっと違ってくると思います。逆に、受ける側、つまり参加した市民の人も、やっぱり議会として、議会の一員が発言しているという聞き方をするので、そこは違ってきます。そのくらい広い範囲で議会報告会というのを検討していったらいいと思います。

○菅原満議長 私のほうから、意見交換会をやられている議会を視察させていただいたり、先ほど齊藤秀雄議員からもあったように、行政視察に来ていただいております。似たように、意見交換会でやられているところも、当初より参加される方が減ってきているという悩みがあるとか、議会ですので、意見交換をしてもやりませんということができず、あくまで持ち帰るしかないという点で、どういうふうに対応していったらいいのか苦慮していること等がございます。また、議員定数、議員報酬について、意見交換をやったところもありますが、あくまで議会としての意見交換会ですので、その場で個人的意見というのは、議員の側からは出しにくいということ、あるいは、議会としての立場としてお答えするしかないということで、苦慮しているというようなお話を伺ったり、行政視察に来られた議会の議員の方たちと意見交換をすると、そういった点で、やはり同じようにどうしていったらいいか苦慮しているというお話はできております。

意見交換会をやりたいという御意見もありますので、ほかの議会でどのようにやられているか調査していただいて、議会運営委員会の場で議会運営委員会の委員を通じて提案いただくとか、そういったような形で議論していくなら議論していくということで、その辺も含めて議会運営委員会で議論していき、最終的に、今回の議会報告会の反省、その他については、それはそれで決定させていただくと同時に、今後の議会報告会あるいは意見交換会のようなものをするのか、各会派で協議していただいて、議会運営委員会で今日の御意見に関して協議していくこととなります。今後の流れも含めてお話させていただきました。

基本的には、予算と決算で年2回行っていくことが、確認されています。今後、反省でいただいたことがベースなるかと思えます。

ほかに、御意見ございますか。

〔「なし」という声あり〕

では、今日の御意見を各会派で十分議論いただいて議会運営委員会で、議運の委員を通じて御協議を頂ければと思えますのでお願いします。この場でなくとも、各会派で協議していただいて、出していただくということをお願いします。

それでは、確認のため、議会運営委員長から会議の予定について報告していただきます。

齊藤秀雄議会運営委員長。

○齊藤秀雄議会運営委員長 議会報告会の総括についての議運は、12月16日月曜日、本会議終了後に行いますので、よろしくをお願いします。以上です。

○首原満議長 本日の協議は、これにて終了しました。

ほかに何かございますか。

〔「なし」という声あり〕

なければ、連絡事項として、12月19日に9時30分から、1時間程度になるかと思えますが防火訓練がございます。これは、市が毎年行っている防火訓練です。昨年は、議会として対応しましたが、今回は、当初の予定から12月にずれましたので、議会の日程等もあり、議会として参加ということは考えておりません。前回は、議会開会中を想定してということでした。いろいろな場合が想定されますので、当日、その前に来ていただいて、当日来られている議員も避難ということで参加していただき、市の訓練の状況を見ていただいて参加していただくことを想定しております。

当初の予定どおりということであるならば、何らかの形でまとまったの参加ということも考えておりましたが、12月19日ということですれしましたので、よろしくをお願いします。

本日の記録につきましては、議長及び副議長に一任願います。

以上で、全員協議会を閉会します。

午後 3時13分 閉会

議 長 菅 原 満

副 議 長 栗 原 次 男